

中国語新書紹介（一部内容の翻訳）

3・11 東日本震災後

真の日本を写す

（元の中国語書名：《写真日本》）

大和民族“和”の秘密



著者
李聚会

頭をさげて詫びる首相
賄賂をことわる医師 世界一の土地死守戦士
冷静かつ秩序正しい国民
沈まない日本丸の秘密 混迷する政局と平穏な社会
男性 WC に闖入する大和撫子 マスコミを恐れる政治家

北京出版集團
北京出版社

著者プロフィール（表紙内側）

李聚会 「文化大革命」中に紅衛兵の一員、中学卒業後農村に流され、日本語の通訳・翻訳を経験し、国際交流のヒノキ舞台で活躍。ある中国中央団体の副秘書長（副局長クラス幹部）をつとめ、10年近く「高級幹部保健医療」の厚遇に恵まれていた。



土地死守者を避けて作られた「への字」誘導滑走路が、日本紆余曲折の「協和」の道を表している

「3・11 東日本大地震」と津波、放射能という三重パンチに襲われても、日本人の示された秩序を守る沈着・冷静さに全世界が震動させられ、崩れることのない日本ビルディングの仕組み解明に人々の関心が寄せられている。

GDP がすでに日本を追い越し、ハード面の建設と様々なスピードが世界トップレベルになってから、予想しなかった暗雲が中国大陸に垂れ込み、ジャングルの掟が幅を利かせるようになった今、日本よりも調和的な社会構造を構築しなければ、13 億中国人が恨み節に囚われる原始社会から一日も早く脱出し、安心して「和諧」号新幹線に乗ることができないだろう。

日本大和民族の「和」の秘密を掘り出して、祖国「和諧」号時代列車の建設者達にささげたい。

この本を著す際の感想（裏表紙の内側）

「私は日本のことをあまり好きではありませんが」という言葉は、すでに日本のことを客観的に紹介したくても、罵言を浴びないための護身の前置きとなっています。日本に身を置いている私にとって、その安全帽をかぶる必要がないが、私も青春時代を過ごし、嵐・波風そしてすさまじい発展を辿ってきた祖国をこの目で見てきました。白髪が増えてはじめて自身の体験が最大の富となったことに気づき、この宝の山をたよりに、島国日本で生まれ故郷に報いるための探索と思考を始め、「日本丸」安全運行の「最高機密」を手にしようと考えています。